



#### 4. 事業内容及びスケジュール

(3の課題に取り組む上で、実施する事業及び具体的なスケジュールを記載してください。)

- ① 中高生が親や学校の先生以外の普段交流することのない様々な大人たちとの対話・交流を持てる機会を提供する。

\* ミニフォーラム…ワークショップの前に中学校・高校に協力を要請し子どもモニター等、各学校より参加者を募る。

\* PRライブ…中高生は学校を通じての案内だけでは興味を持つことが難しい。若者が最も関心を示す音楽ライブにより、多くの参加者の募集を呼びかける。(新松戸まつりにて実施予定)

\* ワークショップ…様々な生き方を感じられるように、分野を問わず熱い情熱をもって活躍している人を招き、対等に話をする機会を盛り込む。

(案: 現在横浜のサッカースクールで青少年のサッカー選手育成に活躍中。  
元アルゼンチン代表 オルテガ監督)

- ② 弊法人の活動 PR チラシ・ポスターを作製し、参加者の募集・事業の周知を行う。

- ③ 一過性のイベントではなく、ミニフォーラム → ワークショップ → ユースペース (法人独自事業) → 次年度の企画立案 というように、参加者が次年度以降も継続して関わりを持てるような仕組みを作る。

- ④ 本事業の活動報告パンフレットを作成し、次年度に向けて事業周知を継続していく。また、その中で法人独自事業の中高生の広場「ユースペース」を一緒に紹介することにより、市内に中高生の居場所があることを広くアピールしていく。

(日程、場所、実施内容を具体的に記載してください。)

日程	具体的な取り組み	実施体制、対象者、場所など
4月	ミニフォーラムちらしポスター作成・配布 ワークショップ講師依頼	ちらし2,000枚 ポスター80枚 配布先: 松戸市内中学校高校・町内会等
5月	ワークショップちらしポスター作成	ちらし2000枚 ポスター80枚
5月28日頃	ミニフォーラム(1回目)	対象: 子どもモニター参加者+一般中高生 場所: 青少年会館等
7月16・17日	PRライブ	対象: 新松戸祭りに参加の中高生 場所: 新松戸祭りのステージ
7月30日	第1回ワークショップ	対象: 中高生 場所: 未定
11月23日	第2回ワークショップ メイン講師案: オルテガ監督(サッカー: 元アルゼンチンリーグ得点王)	対象: 中高生 場所: 未定
1~3月	活動報告パンフレット作成 プラン見直し	3000枚

## 5. 事業に期待する成果

(事業を実施する上で、どれだけのことを達成したいのか。その目標を数値などで記載してください。)

- ① 音楽 PR イベントを行うことで、参加者 50 名を確保し、最後まで受講者を維持する。
- ② 中高生が自ら考える体験により自信を持ち、将来の進学や職業選択に希望を持てるようになる。
- ③ 事業実施の相乗効果として、法人独自事業の中高生の居場所「ユースペース」の利用者を 1.5 倍に増やす。(目標：平均 10 名/日)
- ④ 広報用のちらし・ポスター・パンフレットによって地域にも周知され、弊法人の活動を理解した支援者が増える。
- ⑤ 市との協働事業を通して、弊法人の信頼度が高まり支援者が増え、今後の法人運営の基盤拡大が期待できる。

## 6. 協働の意義

(協働の必要性、協働で事業に取り組むことの効果、提案者や市のメリットなどを記載してください。)

- ① 学校やその他の機関との協力や、松戸市の他事業にて宣伝の場を得ることが出来る。
- ② これまでの法人の独自事業のみでは PR 仕切れなかった中高生や保護者に対しても幅広く周知を図ることができる。
- ③ 市の名前があることでイベントに対する参加の不信感や抵抗感が軽減し、参加のハードルを低くすることが出来る。
- ④ ワークショップに協力してもらった「大人」の人選について、弊法人の持つ人脈と市が持っている人脈の双方を活用し、より多彩な人材の協力が可能となる。
- ⑤ 中高生の支援をしたいというアイデアがあっても自己資金が少ないため、発展させることが難しかった企画を実現することができる。
- ⑥ J ワールドがこれまでの活動で培ってきたノウハウを活かし、松戸市次世代育成支援行動計画において計画されている青少年の成長支援事業（〈仮称〉若者塾）を実施することができる。

## 7. 事業実施の役割分担

### ■ 提案者の役割

(提案者が行うことを具体的に記載してください。)

- ① ワークショップの企画、準備
- ② チラシ等の広報物の作成
- ③ 参加した子どもたちのフォローアップ（ユースペース含む）

### ■ 担当課の役割

(市が行うことを具体的に記載してください。)

- ① 協働事業を進める上での弊団体に対する指導・助言
- ② 学校その他を含めた広報活動の協力
- ③ 会場の選択や提供
- ④ 資金の提供

## 8. 将来の展開

(このモデル事業の成果をどう活かし、今後、事業展開していきたいのかを記載してください。)

- ① ワークショップを3年継続プランとし、毎年その成果を分析しながら内容を改善、発展させていく。
- ② 参加した中高生を次年度以降の企画・運営に巻き込んでいくことにより、自信を得る機会となると共に、新しい企画や活動を生み出し、発展させていく。
- ③ ワークショップを基盤とし、中高生の居場所が地域に広がり、ワークショップを開催しなくても、日常の中で地域の大人やさまざまな人たちとの交流を持つことが出来るようにする。
- ④ 「松戸市次世代育成支援行動計画」において計画されている青少年の成長支援事業（〈仮称〉若者塾）をさらに具体化し、地域の中高生の健全育成に貢献していきたい。
- ⑤ 弊法人の信頼度を上げることにより、活動を継続して支援して下さる個人・団体を確保し、補助を受けなくても活動していける運営を目指していく。

## 事業の予算計画

【社会資源持ち寄り（収入）】

（単位：円）

提案者	（自己資金）	金 額	積算内訳
			122.900 円
	自己資金合計（a）	122.900 円	
	労力換算額計（b）	540.000 円	労力換算計算書のとおり
市	負担金申請額（c）	472.000 円	
	資金合計額（d）（a+c）	594.900 円	事業費（g）と同額

【負担金申請額（c）チェック項目】

1. 対象となる経費（e）欄の90%以内
2. 1事業あたり50万円以内
3. 自己資金（a）欄に労力換算額（b）欄を加えた額以下であること。

【事業費の積算（支出）】

	項 目	金 額	積算内訳
負担金の 交付対象経費	チラシ・ポスター作成費	44.000 円	チラシ@5円×2,000枚×2 ポスター@150円×80枚×2
	フォーラム費	66.000 円	講師謝礼3,000円×10人 消耗品20,000円 飲み物お菓子代15,000円 機材運搬費1,000円
	ワークショップ費	172.000 円	メイン講師謝礼金20,000円×2回 その他謝礼3,000円×10人×2回 消耗品20,000円×2回 飲み物お菓子代15,000円×2回 機材運搬費1,000×2回
	PRライブ経費	117.000 円	機材運搬費1,000円 音響レンタル費116,000円
	パンフレット作成	100.000 円	@33.3円×3,000枚
	通信費	4.000 円	切手代@80円×50枚
	保険費	22.400 円	ボランティア保険@280円×80名
	対象となる経費合計額（e）	525.400 円	
	その他経費	講師・スタッフ弁当代	20.000 円
スタッフ交通費		12.000 円	フォーラム・ライブ等交通費 @300円×10人×4回

	PR用スタッフTシャツ	37.500円	Tシャツ作成@2.500円×15枚
	その他経費合計額 (f)	69.500円	
	事業費 (g) (e + f)	594.900円	収入合計額 (d) と同額

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

# 労力換算計算書

(単位：円)

	項 目	換算額	積算内訳
労 力 換 算 額	活動計画		人数×時間×回数×500円
	チラシ・ポスター原稿作成	8.000円	1人×8時間×2回×500円
	チラシ配布・講師依頼	8.000円	2人×4時間×2回×500円
	フォーラム・ワークショップ (3回)	180.000円	15人×8時間×3回×500円
	フォーラム企画準備	192.000円	8人×8時間×6回×500円
	PRイベントライブ	40.000円	10人×4時間×2回×500円
	ライブ企画準備	40.000円	10人×2時間×4回×500円
	パンフレット原稿作成	16.000円	2人×8時間×2回×500円
	トータルコーディネーター	56.000円	1人×8時間×14回×500円
	合計 (b)	540.000円	